

丹沢ボラネット瓦版

2025 年6月号 No.122



↑ 写真 秦野丹沢まつり 環境啓発テントが並ぶ R7.4.20



↑ 写真 丹沢案内等のパンフレット R7.4.20
山の門が開かれ、集中登山が行われた



↑ 写真 山開き式で安全祈願され、

令和7年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会

令和7年度総会は自然環境保全センターで4月12日(土)に開催されました。

今年度は秦野丹沢まつり等と行事が重ならないよう、例年より一週間早くなりました。

関係者の協力により出席団体が増え内容のある総会でした。皆様方の協力に感謝します。

例年のように、各団体の活動様子やボラネットへの思いなどを発表していただき、充実した総会になりました。その上今年度は一般社団法人「森里」(MORI)がボラネットへ加入し、紹介を兼ねてスライドを使用した活動報告を行い、各参加団体は希望と元気を頂きました。

今回の総会はスライドだけでは、読み取りや理解が深まらないので、総会資料は紙資料とプロジェクターの両方を使用し、総会の運営をしました。

令和7年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会

日時 令和7年4月12日(土)

場所 自然環境保全センターレクチャールーム

議事

1 令和6年度事業報告・決算報告(資料1. 2)

2 令和7年度事業計画・予算(案)(資料3. 4)

3 世話人の改選(資料5)

4 その他 各団体の活動報告 以下総会資料抜粋



↑写真 熱心に討論する総会の様子

丹沢大山ボランティアネットワーク

令和6年度(2024年度)決算報告

令和7年4月1日

会計・遠藤順一

1. 収入の部

科目	予算	決算	予実差	備考
会費	44,000	36,000	-8,000	R6 年度会費
助成金	300,000	196,575	-103,425	丹沢の緑を育む集い実行委員会 水質調査
繰越金	76,458	76,458	0	
利息	0	45	45	
合計	420,458	309,078	-111,425	

2. 支出の部

科目	予算	決算	予実差	備考
水質調査	260,000	199,295	-60,705	
講演会	40,000	0	-40,000	
世話人会運営費	60,000	30,470	-29,530	交通費、コピー代
丹沢大山自然再生委員会会費	11,000	10,385	-615	
予備費	49,458	0	-49,458	
合計	420,458	240,150	-180,308	

3. 収支

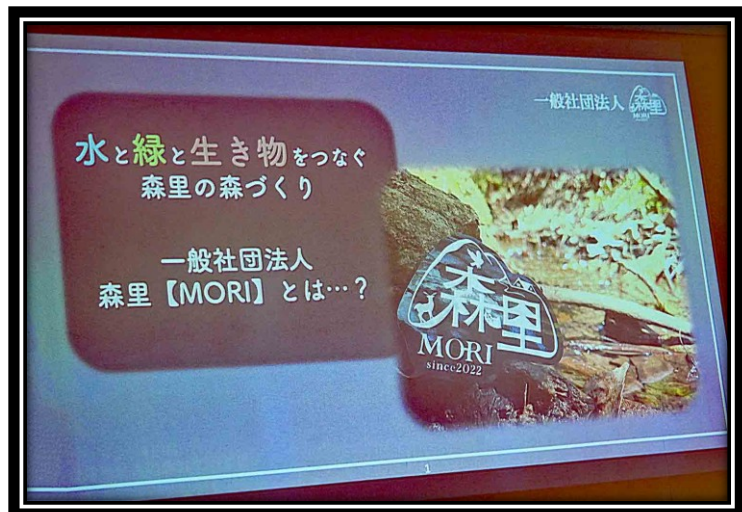
収入総額	支出総額	残高
309,078	240,150	68,928

令和6年度丹沢大山ボランティアネットワークの会計を監査しました。適正に執行されているものと認めます。

会計監査 森島 真知子
会計監査 石山 浩恵

丹沢大山ボランティアネットワーク参加団体一覧

団体名
1 神奈川県勤労者山岳連盟
2 横浜わらび山の会
3 神奈川県山岳連盟
4 神奈川県自然保護協会
5 山綾会
6 四十八瀬川自然村
7 自然塾丹沢ドン会
8 丹沢ゴミ調査会
9 丹沢自然保護協会
10 丹沢ブナ党
11 みろく山の会
12 野生動物救護獣医師協会神奈川支部
13 かながわ野生動物サポートネットワーク
14 町田グラウス山の会
15 ウェインズホールディングス渉外広報室
16 伊勢原森林里山研究会
17 美登会
18 丹沢自然学校
19 野生動物救護の会
20 湘南自然観察クラブ
21 丹沢山小屋組合
22 丹沢環境推進会議
23 森里



↑写真 元気をくれた新加入団体 一般社団法人 森里(MORI) 活動紹介の様子

令和7年度事業計画(案)

1 総会

実施日 令和7年4月12日(土)

内 容 令和6年度事業・決算報告及び令和7年度事業計画・予算案

2 世話人会

実施日 年4回(6、9、12、3月)

場 所 神奈川県自然環境保全センター(ワーキングルーム)

出席者 世話人及び自然環境保全センター自然保護課職員

内 容 事業の企画運営ほか

3 活動事業

(1) 水質調査

実施日 令和7年5月～6月

場 所 丹沢大山地域 水場17箇所

内 容 大腸菌等10項目の水質検査

(2) 講演会

実施日時 令和7年9月13日(土)

場 所 神奈川県自然環境保全センター(レクチャールーム)

内 容 「丹沢の成り立ちと地質的特徴」

講 師 神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員 山下 浩之

(3) 交流会

実施日時・内容等 調整中

4 広報

(1) 瓦版の発行

(2) 活動報告書の作成

(3) ホームページの更新

5 関係会議等への出席

(1) 緑を育む集い実行委員会

(2) 丹沢大山自然再生委員会

令和7年度予算(案)

資料4

1 収入の部

科 目	予算 (A)	前年度予算額 (B)	比 較 (A-B)	備 考
会費	46,000	44,000	2,000	世話人会の運営、丹沢大山自然再生委員会 会費には繰越金を充てる。
助成金	300,000	300,000	0	丹沢の緑を育む集い実行委員会 水質調査、講演会等
繰越金	68,928	76,458	▲ 7,530	
合計	414,928	420,458	▲ 5,530	

2 支出の部

科 目	予算 (A)	前年度予算額 (B)	比 較 (A-B)	備 考
水質調査	260,000	260,000	0	交通費補助、採水ビン送料、検定料等
講演会・交流会	60,000	40,000	20,000	講師謝金、事務用消耗品等
世話人会運営費	60,000	60,000	0	交通費補助、通信費等
丹沢大山自然再生委員会 会費	11,000	11,000	0	会費、振込手数料等
予備費	23,928	49,458	▲ 25,530	
合計	414,928	420,458	▲ 5,530	

令和7年度丹沢大山ボランティアネットワーク世話人

	氏 名	団 体 名	任期
代 表	小林 昭五	NPO法人丹沢自然学校	令和6.4～令和8.3
副代表	小野 均	NPO法人四十八瀬川自然村	令和6.4～令和8.3
副代表	山口 寿則	NPO法人伊勢原森林里山研究会	令和7.4～令和9.3
会 計	遠藤 順一	NPO法人野生動物救護の会	令和7.4～令和9.3
監 事	森島 眞知子	町田グラウス山の会	令和7.4～令和9.3
監 事	石山 浩恵	湘南自然観察クラブ	令和6.4～令和8.3
	栗林 弘樹	丹沢ゴミ調査会	令和6.4～令和8.3



2010年10月撮影
檜洞丸山頂にて



2024年9月撮影
林床植生の回復が見られる

↑写真 会場 神奈川県自然環境保全センター

↑写真 NPO法人丹沢自然学校の活動報告

令和7年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会結果(報告)

1 日 時・場 所

令和7年4月12日(土) 13:30～15:00

神奈川県自然環境保全センター レクチャールーム

2 出席団体数 13 団体

3 各議案の承認状況

すべての議案について、出席者(回答者)の過半数の賛成により、承認された。

(丹沢大山ボランティアネットワーク会則第7条第3項)

議案1: 令和6年度事業報告・決算報告

資料1.2のとおり承認

議案2: 令和7年度事業計画・予算(案)

資料3.4のとおり承認

議案3: 世話人の改選

資料5のとおり承認

4 その他(意見等)

- ・ 水質調査の調査箇所が減少してきている。水質検査結果は登山者にとっても有益な情報なので、例えば、自然環境保全センターの活動の中で採水をして頂くなどの検討してもらえないか。
採水箇所については、必要に応じて世話人会で検討する。
- ・ 今回、一般社団法人 森里様に新規入会していただいた。今後、ボラネットの活性化のためにも、是非若い団体に参加してほしいと思うので、各団体の活動の中で、若い団体とつながる機会等があれば、ボラネットを紹介し誘っていただきたい。

総会参加各団体の活動発表と御意見



↑写真 山綾会等の発表の様子



発表を聞いている様子

昨年度は各加盟団体にボラネットの今後のあり方等に対する意見をお願いし、充実した活動を発表して頂きました。今年はその成果に基づき、その後の活動の様子を報告して頂きました。各団体とも内容のある素晴らしい活動でした。その中で、お互いに今後の活動への刺激や指針を得て元気がでました。次年度の活動報告が楽しみです。

丹沢の緑を育む集い実行委員会の活動報告会

ボランティア団体助成事業の支援を受けた団体の報告会を行う。(3 団体)

NPO 法人丹沢自然学校 五十嵐氏発表

内容

エコツアーを活用した県民参加型自然再生の推進

檜洞丸に10か所の定点を定め、林床植生やブナの立枯れを追跡調査する定点撮影を行った。また、秦野市柳川生きものの里において、幼稚園の課外活動として水生生物調査、小学校3年生の授業として野生動物の痕跡探しとセンサーカメラ調査をそれぞれ実施した。
調査結果は小学校授業にて発表するとともに、柳川生き物の里において写真を常設展示した。

→写真

小学校での授業の様子や
野外活動、野生動物の活動写真



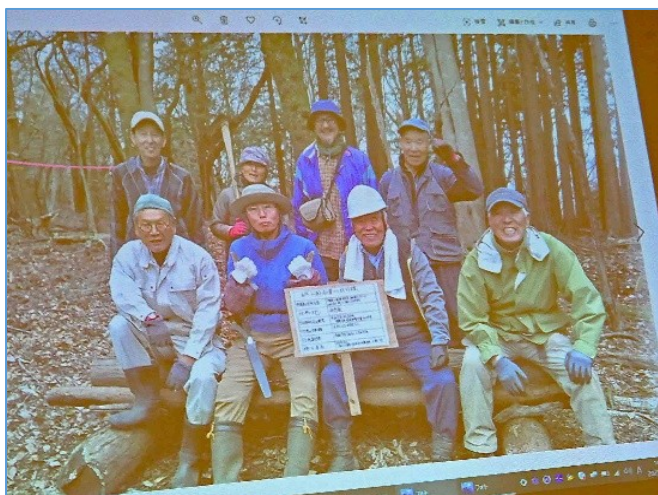
NPO 法人四十八瀬川自然村 小野氏発表

内 容

- ・秦野市蒲浦地内での里山保全再生活動について
- ・観察路づくりや雑木の伐採等の活動報告



↑ 写真 小野氏の発表の様子
← 里山保全活動の仲間達



NPO 法人 野生動物救護の会 遠藤氏発表

内 容

自然環境保全センター自然観察林内の
野生動物の調査研究や保護活動等を行う。

→写真
遠藤氏の発表の様子



丹沢大山ボラネット加盟団体からの投稿

春の世附を歩く～椿丸・菰釣山からシキリ尾根を経て～

NPO法人丹沢自然学校 奥津 岳

2025年4月19日、浅瀬から椿丸を経て菰釣山(こもつるしやま)へ登り、下山はシキリ尾根を通して地蔵平へと、世附(よづく)の静かな山々をぐるりと周回してきました。

浅瀬の林道終点を出発し、まずは椿丸を目指します。登り始めは少し肌寒さが残っていましたが、歩を進めるにつれ体が温まり、春の空気が心地よくなりました。

以前に歩いた道だけに、焦らず丁寧に歩くことを意識し、順調に椿丸へ。

→写真の説明

椿丸から望む、菰釣山までの稜線まだまだ遠い



小休止ののち、12年ぶりとなる織戸(おりと)峠へ向かいます。広葉樹の新芽が一斉に芽吹いており静かな尾根道が続きました。

今は人の気配は皆無ですが、かつてこの峠を越えて、地蔵平と水ノ木の間を人々が往来していたのだと思うと不思議な気がします。

大梅(おおつが)から先の登りはさすがに息が切れます。菰釣山へ至るまでの最後の急登では、何度も立ち止まりながら、慎重に歩を進めました。

無事登頂し、山頂ではコーヒーと菓子パンで一息。

→写真の説明

静けさに包まれた織戸峠



下山に選んだのは、今回初めて歩くシキリ尾根。

明るく開放的なブナ林が続き、季節を変えて再訪してみたいと思う美しい森が続きました。

地蔵平のお地蔵様に感謝を伝え、そこから大又沢林道を経て、夕暮れ前には浅瀬に無事戻ることができました。

→写真の説明
菰釣山の山頂にて
富士山は逆光と雲の中



世附の山々は、派手な展望や観光地的要素は少ないですが、その分、山と森そのものと丁寧に向き合える場所だと思います。

季節を変えてまた歩きにきたい…そう思わせてくれる、充実した一日でした。

→写真の説明
シキリ尾根は、とても歩きやすい尾根でした。地蔵平で小休止



→写真の説明
かつては小学校の分校もあった集落でしたが、今は無人の広場になっている

地蔵平から大又沢林道を歩いて浅瀬に戻りました。



丹沢ボラネット瓦版 2025 年 6 月号(通巻 122 号)6 月 20 日発行
丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五